

# 第3回東大エネルギー・環境シンポジウム 「エネルギーと環境の調和した発展を求めて」

日時：平成23年11月4日（金）10:00～18:20（受付開始 9:15）

場所：東京大学安田講堂（東京都文京区本郷 7-3-1）

主催：東京大学エネルギー・環境研究アライアンス

東京大学エネルギー工学連携研究センター（CEE）

東京大学先端エネルギー変換工学寄付研究部門（AECE）

東京大学低炭素社会実現のためのエネルギー工学寄付研究ユニット（SELCAS）

共催：東京大学先端電力エネルギー・環境技術教育研究センター（APET）

東京大学エネルギー・資源フロンティアセンター（FR CER）

<開会のあいさつ> 東京大学 生産技術研究所長 野城智也 (10:00～10:15)

## 第1部 地球温暖化問題の現状と動向

(1) 日本を取り巻く環境と進むべき道 (10:15～10:50)

東京大学大学院新領域創成科学研究科 特任教授

／キヤノングローバル戦略研究所 理事・研究主幹 湯原哲夫

(2) 地球温暖化問題の科学と総合的対応の必要性 (10:50～11:50)

東京大学 名誉教授／海洋研究開発機構 特任上席研究員 松野太郎

— (11:50～13:00) — 休憩

## 第2部 エネルギーと環境の調和ある発展

(1) 震災後のエネルギー危機と大学 (13:00～13:20)

東京大学 理事・副学長 前田正史

(2) 日本のエネルギーと環境政策を如何に進めるべきか (13:20～14:00)

キヤノングローバル戦略研究所 理事長 福井俊彦

(3) エネルギー・環境問題における学術の役割 (14:00～14:50)

東京大学 名誉教授／地球環境産業技術研究機構 理事・研究所長 山地憲治

— (14:50～15:10) — 休憩

## 第3部 産業界としていかに実現を目指すか

(1) 福島第一原子力発電所の事故と対応について (15:10～15:40)

東京電力株式会社 代表取締役副社長 相澤善吾

(2) 震災後のエネルギー需給展望と対応技術 (15:40～16:30)

三菱重工業株式会社 代表取締役常務執行役員 和仁正文

(3) 創発的破壊：日本のパラダイム・チェンジ (16:30～17:20)

一橋大学 イノベーション研究センター長・教授 米倉誠一郎

(4) 3.11後のエネルギー対策…禍を転じて福となせ… (17:20～18:10)

東京大学生産技術研究所 特任教授 金子祥三

<閉会のあいさつ> (18:10～18:20)